

ロシアのクラシック音楽における ロシア正教の影響

講師：斎藤もも（ピアニスト・音楽学者）

聞き手：小林聡羅（本学作曲専攻作曲コース教授）

斎藤もも（ピアニスト・音楽学者）

愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノコース卒業、同大学院音楽研究科博士前期課程鍵盤楽器領域修了。その後更なる研鑽のためロシアに渡り、本格的な音楽学研究に取り組み始める。

2020年にチャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院大学院ピアノ科修了（修士論文「ニコライ・メトネルのピアノ指導法——その方法論的側面」）。2021年に日露青年交流センター（若手研究者派遣事業）日本人フェローとして再渡露し、同音楽院大学院博士課程ロシア音楽史研究科に在籍。モスクワを拠点として研究活動を行う。

これまでにピアノを松本道代、武本京子、熊谷恵美子、牧野縝、北住淳、アレクサンドル・フォメンコの各氏に師事。また、ドイツのロストック音楽演劇大学主催の夏期マスタークラスにて選拔され、故ハミッシュ・ミルン（英国王立音楽院教授）の指導を受ける。宗次ホール、カワイ名古屋「ブルー」、ムジカーザ（東京）、ミヤコフスキーホール（モスクワ）等でリサイタルを行うほか、アンサンブル分野においても活躍し、2019年ロマンティシズム国際コンクール（モスクワ）声楽部門最優秀伴奏者賞を受賞。

2022年第3回メトネル記念国際コンクール（サンクトペテルブルク）音楽評論部門特別賞受賞（論評1「N.メトネルの音楽哲学の語り手——ペテルブルクのピアニストK.ブルホフスキー=ヴァシーリエフについて」、評論2「人間の魂の反映としてのメトネルのおとぎ話」）。

Program

チャイコフスキー：『子供のアルバム』op.39より第1曲「朝の祈り」第24曲「教会にて」

ラフマニノフ：『断片』遺作

ラフマニノフ：2台のピアノのための組曲第1番『幻想的絵画』op.5より第4楽章「復活祭」

メトネル：主題と変奏 op.55

メトネル：ヴァイオリンとピアノのためのソナタより

（実演または音源の紹介による）



2024. 2.13 Tue

18:30 開演（18:00 開場）

愛知県立芸術大学 室内楽ホール

受講料：無料 全席自由 事前予約不要

駐車場の数に限りがありますので、公共交通のご利用にご協力ください。

お問い合わせ 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課
〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114
☎0561-76-2873（受付時間 平日 9:00～17:30）
URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

アクセス 名古屋方面から
市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車 徒歩約 10分
もしくは市営地下鉄東山線「本郷」または「藤が丘」駅から
タクシーで約 15分

豊田・瀬戸方面から
愛知環状鉄道「八草」駅下車、
東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車 徒歩約 10分

